

# 入野小学校 校長室だより

2014. 12. 25(木) No. 32 文責：芝

## 青い空と広い校庭, のお話

給食が終わって、すぐに校庭に飛び出してきた2人。下の写真のように「広い校庭を二人で独占」したような状態です。これには少しお話がついています。

この日は午前中が雨。そのため、職員室前の花壇には「校庭は使えません」を示す赤い旗が出ていました。それが天気の変化によっていつの間にか校庭が乾き、『使用禁止』が解除になっていたのです。そのために他の人たちは少し出遅れたのかもしれませんが、2人にとっては『ラッキー』でした。

ですが、こうなったことで思惑が外れた人もいました。職員室に来た男の子が校庭を見てつぶやきました。

「赤旗、無いなっちょう…」

この子は「校庭が使えないので体育館で遊べる」と楽しみにしていたようです。外を眺めながら諦めきれない様子。職員室にいる職員に「体育館で遊べないか」を確認していました。でも、『学校の約束』の壁が…。

すると、彼は私に向かって、  
「校長先生！お願い！」

その言い方が、あまりに可愛いので、思わず「よっしゃあ、遊んでええぞ！」と言いた



かったのですが、私も『きまり』をその時の気分で無視するわけにはいきません。

「そうしてあげたいけどねえ…」

と、その子も私も我慢した出来事でした。

## 今日で2学期が終わりです

今日(25日)を以て2学期が終わります。

子どもたちは4月から今日まで約150日間登校しました。「万」だとか「億」だとか、大きな数を聞き慣れている私たちにとって、150という数は「たいしたことない」と思ってしまうのですが、この150日間の子どもたちの成長には本当に驚いてしまいます。

計算してみると、小学校の低学年では「生後3000日」前後ですし、小学校を卒業するときでさえ「生後5000日」に大きく足りません。こう考えると、子どもたちにとって、『一日一日』が本当に大切に価値のあるものだと思感させられます。

学校は明日から冬休みに入ります。今年はちょっと短めの13日間。短いのですが、この時期は伝統だとか昔からの習慣だとかに出会う機会が多くなります。一日一日を大切に、良い学習になることを願っています。もう一つ、子どもたちにも大人たちにも、最も「夜更かし・朝寝坊」になる危険性の高いお休みでもあります。とにかく、健康・安全が第一です。十分に気をつけて、楽しく有意義に過ごしてほしいと、心から願っています。

### 《 保護者の皆様、地域の皆様 》

今年も保護者の皆様や地域の皆様のおかげで素晴らしい年にする事ができました。皆様のご支援とご協力に心から感謝いたします。

本当にありがとうございました。

来る新しい年が皆様にとって良い年になりますよう、心からお祈りいたします。

入野小学校職員一同